

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東広島浄化センター

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市西条町田口10100-1

(3) 業種

3631 下水道処理施設維持管理業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本思考

エネルギー使用を適正・有効に実施し、省エネルギー対策を継続的に行うことで、CO2排出量を削減し環境への負荷低減を推進する。

2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・新エネルギーの導入
- ・グリーン購入の推進
- ・廃棄物の排出抑制
- ・環境保全活動の実施

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和4（2022）年度
二酸化炭素	4,070	3,492

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	4,070	(69.5)	-2,830	6,900		
非エネルギー起源CO ₂				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	4,070	(69.5)	-2,830	6,900		
温室効果ガス みなし排出量		-		6,900		
目標設定の考え方	下記のとおり、原単位数値(処理水量)が大幅に増加する見込みのため、エネルギー起源CO ₂ の排出量は増加する見込みである。					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

処理水量(千m³)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位数 値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,070	11,610	0.35	11.4	6,900	22,000	0.31
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-	1,425	-98.7	-	-	2,831
目標設定の考え方	原単位数値(処理水量)が大幅に増加する見込みのため、エネルギー起源CO ₂ の原単位は削減する見込みであるものの、エネルギー消費原単位(原油換算k1)は増加する見込みである。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気御使用量の削減	購入電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電設備の稼働 ・太陽光発電設備の稼働
2	電気御使用量の削減	電気御使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時間の消灯 ・非常用発電機の適正管理
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

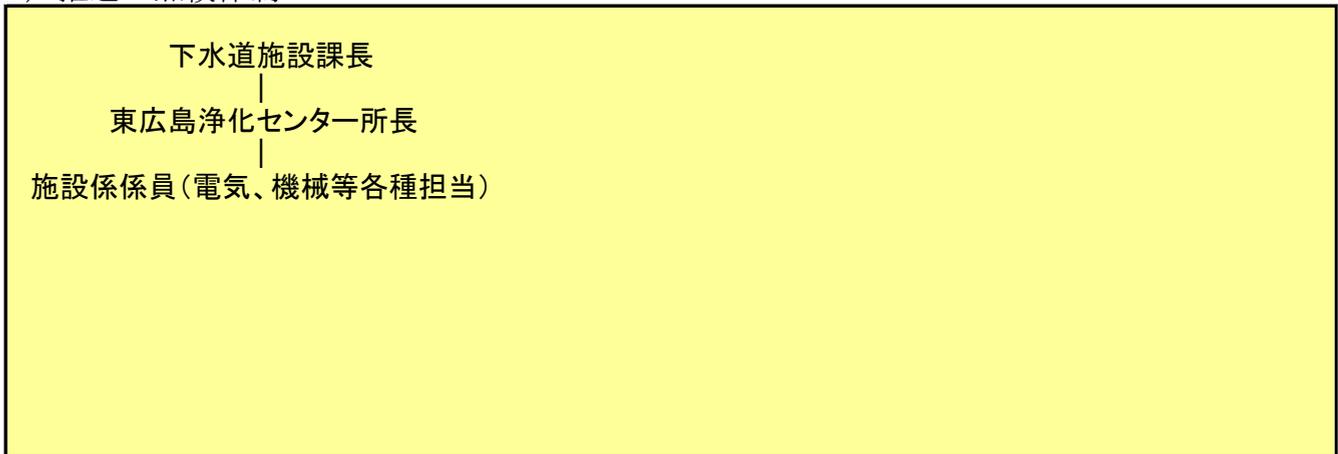
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	グリーン購入の推進	行える範囲での実施	環境への負荷が少ない製品の購入
2	廃棄物の削減	通例	ごみの分別化
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

施設係を中心とし、温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・検討・評価を行い、継続的な向上をはかる。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する。